

##見出し

“臭い”問題に成果

“羊毛の良さ”更に周知

##本文

ベストウールクラブ(BWC・野村利泰会長)は、4月9日、東京・中央区八重洲の日本ふとん製造協同組合(JFMA)会議室で、「第122回定例会」を開催しました。

冒頭、野村会長が、「我が業界は、年で区切って『終了』と宣言し、新しいモノに変えることを勧めるソフトウェア業界とは異なるため、当クラブとしても、一步一步着実に信頼を積み重ねて、将来に向けて取り組みたい」とあいさつしました。

定例会は、以下の6つの議題が挙がり審議されました。

【議題①】第121回レビュー＝カネヨウ・勢間氏より報告されました。

【議題②】「羊毛の不快感臭いに関するウールマーク基準変更」について

2月25日東京AWI事務所にて、JAFMA、AWI、FGC、BWCの4団体の代表が集まり、意見交換を行った。ウールマーク基準の変更には至らないが、日本国内向けのガイドライ

ン

として、清浄度:100mm以上、残脂率:0.5%以下の基準を採用する方向が示された。

まだ、AWI本部の承認を得ていない為、本部の承認後に実施へ移す予定である。

【議題③】平成26年度事業活動について

1:レーヌマークの拡販

2:羊毛掛け布団の開発

(1)ウール100%、(2)ウール+エステル、(3)側地のそれぞれの側面からの提案が考えられる。また具体的にどんなアクションを起こしていけるのか執行部でも検討して次回定例会にて方向性を示していく。

3:羊毛布団の快適性の評価

ウール布団の優位性の発信。AWIから入手した資料も利用し、裏付けデータ、法の兼合いなども確認しながら健康面からの訴求を行うなど、積極的に訴求していく。本件については、AWI、FGC、JAFMA等とも歩調を合わせていきたい考え。

【議題④】2014年度海外研修旅行について

プランをベトナム一国にしぼった案について再度協議を行い、本年度海外研修を行うことと決定した。日程は7/8(火)～7/13(日)<4泊6日>の予定。

各社出席人数(氏名)を4月末までに執行部へ連絡する。

【議題⑤】「レーヌマーク」販売促進策について

レーヌマーク10周年に起因した形で、アンケートや広告の掲載を行うなどの意見があったがまとまらず、各会員持ち帰りにて次回アイデアを持ち寄り再度議論を行うこととなった。

【議題⑥】その他

賛助会員より(興国繊維:羊毛、カネヨウ:羽毛)、原料相場、最新状況について

報告を行った。

なお、次回例会は、9月18日(木)に開催する予定です。

「第122回定例会」は、後藤利広会計幹事より「閉会の辞」で、滞りなく終了しました。